

地方公共団体から寄せられた主な共通課題とその対応 ～ 通りを中心とした景観整備・改善 ～

電線類の地中化の推進

- ・ 伝統的建造物群保存地区等歴史的地区において、電線類の地中化を進めてほしい。
- ・ 電線類の地中化において、民間コスト削減のための技術開発を促進してほしい。
- ・ 電線類の地中化に際し、地上機器等の扱いに対する支援をしてほしい。



- ・ 昨年度末、関係副大臣会合において「電線類地中化の着実な推進に向けた基本方針」を合意したところ。
(参考) 関係副大臣：上野官房副長官、中馬国土交通副大臣、西川経済産業副大臣、加藤総務副大臣
- ・ 平成15年度中に、関係行政機関・関係事業者からなる「電線類地中化推進検討会議」で、浅層埋設方式、バリアフリー化工事との一体施行など『さらなる簡便でコスト縮減が可能な地中化方式』や、柱状型トランス等柔軟な整備手法など『非幹線道路を中心とした新たな整備手法、費用負担、支援制度のあり方』について検討し、新たな「電線類地中化計画」を策定するとともに、平成16年度予算に反映し、歴史的街並みの保全が特に必要な地区においても電線類の地中化を推進。

街並みを大きく改変するおそれのある未整備都市計画道路の見直し

- ・ 現状道路幅員（都市計画道路）を前提とした都市計画の見直しを進めたい。



- ・ 交通状況や都市構造等の変化に基づく都市計画の見直しの考え方については、技術的助言である都市計画運用指針において通知（平成12年12月）。
- ・ 歴史的な街並みの保全に向けた都市計画道路の見直しを進めるための取り組みを事例紹介等を通して支援。

景観整備等に資する事業の活用

- ・ 景観に調和した道路舗装を推進したい。
- ・ 空き地等を利用したポケットパーク、多目的広場等の整備を進めたい。
- ・ 地域住民及び来訪者の安全確保と快適な歩行空間の創出のための駐車場の整備手法はないか。
(伝統的建造物群保存地区における共同駐車場や観光客用駐車場整備に対する支援はないか)



- ・ 別添(2) のとおり、事業手法を用意。

安全な歩行者空間の確保

- ・歩行者空間の確保と円滑な自動車交通道路の両立。
- ・歩行者が並列し安全に楽しく歩ける幅員の確保と歩行空間の整備。



- ・歩行者・自転車を優先した安全・快適な道路空間の実現のため、新たに「くらしのみちゾーン」として、意欲的な地区の取り組みを支援

島根県津和野町等において平成 15 年度に実施